

六月五日(土)に飯田市のりんご並木等を会場に「竹宵まつり」が開催



中でも私が気に入ったキットは、LED電球と普通の豆電球のエネルギー

比較実験器で、これは手回しの発電機でLED電球と普通の豆電球を点灯させ実際にその消費電力を体感してもらおうというもので、大人にも子どもにも好評でした。

瞬間に会場のライトが一斉に消えました。この瞬間は、やはり劇的でした。それまで見えていた空間が一瞬に暗闇に消え、竹宵の明かりが暗闇の中ほかに浮かび上がり、幻想的で魅惑的な空間に変わりました。

後片付けが終わり、会場に戻った時にはいつの間にか、りんご並木に戻って、その大勢の人々、今回事業員として学んだことがあります。

環境月間である六月は、更なる環境保全や地球温暖化防止への積極的な取り組みが求められている。その中、飯田・下伊那地域の風物詩になってきている「竹宵まつり」が、りんご並木の他、風の学舎や昼神温泉郷で開催された。

会場は竹宵で飾られ、午後八時からは一斉ライトダウンが実施された。ミツバチが作った蜜ろうを原料としたロウソク作りなど、環境を意識した取り組みも行われ、会場は夜遅くまで賑わっていた。

その間に、三〇〇本の竹宵が大勢の人の手でりんご並木に飾られました。昼間は人が疎らなりんご並木も日が沈む頃になると次第に人が出てきて、空が暗さを増すにつれ、来場者もどんどん増えていきまし



本来の目的はまったく違い、電灯を消して環境のことを考えるイベントなのです。ですから今年の竹宵は環境に配慮して植物性のロウソクを使用しています。

## 百万人のキャンドルナイト イン 南信州 開催

### 「竹宵のひかりが幽玄の世界に誘う」

当園は、地球環境に目を向けた太陽光発電のお話をNPO法人南信州おひさま進歩より頂き、未



## 明星学園「環境活動」

### 地球温暖化防止活動推進員

佐々木あずみ(喬木村)

ううれしいお便りを頂いたりして、園と保護者の皆様との情報交換も重ねてきました。

県では地球温暖化防止のため、温室効果ガス(二酸化炭素など)の排出目標を一九九〇年の排出量を基準とし、二〇一二年度は▲六%としている。然しながら、二〇〇六年の排出量は基準年と比べて、一八

小さな頃からこのような環境活動を多く経験することで自ら気付く、活動していきける力が育つていってくれたらなあとも感じています。これからも子ども達の驚きや喜びに共感しながら楽しく環境のことを考え、活動していききたいと思いま

このように状況に対応するため、県では今年度温室効果ガスの排出を抑制するため、「平成二二年地球温暖化対策事業」として、家庭・地域における温暖化対策及び自動車からの排出抑制対策を実施する。

この瞬間は、やはり劇的でした。それまで見えていた空間が一瞬に暗闇に消え、竹宵の明かりが暗闇の中ほかに浮かび上がり、幻想的で魅惑的な空間に変わりました。

瞬間に会場のライトが一斉に消えました。この瞬間は、やはり劇的でした。それまで見えていた空間が一瞬に暗闇に消え、竹宵の明かりが暗闇の中ほかに浮かび上がり、幻想的で魅惑的な空間に変わりました。

後片付けが終わり、会場に戻った時にはいつの間にか、りんご並木に戻って、その大勢の人々、今回事業員として学んだことがあります。

このように状況に対応するため、県では今年度温室効果ガスの排出を抑制するため、「平成二二年地球温暖化対策事業」として、家庭・地域における温暖化対策及び自動車からの排出抑制対策を実施する。

この瞬間は、やはり劇的でした。それまで見えていた空間が一瞬に暗闇に消え、竹宵の明かりが暗闇の中ほかに浮かび上がり、幻想的で魅惑的な空間に変わりました。

瞬間に会場のライトが一斉に消えました。この瞬間は、やはり劇的でした。それまで見えていた空間が一瞬に暗闇に消え、竹宵の明かりが暗闇の中ほかに浮かび上がり、幻想的で魅惑的な空間に変わりました。

後片付けが終わり、会場に戻った時にはいつの間にか、りんご並木に戻って、その大勢の人々、今回事業員として学んだことがあります。

## 地球温暖化防止はまず家庭から

### 平成22年度、県温暖化防止施策より

このように状況に対応するため、県では今年度温室効果ガスの排出を抑制するため、「平成二二年地球温暖化対策事業」として、家庭・地域における温暖化対策及び自動車からの排出抑制対策を実施する。

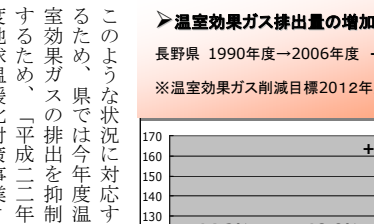
瞬間に会場のライトが一斉に消えました。この瞬間は、やはり劇的でした。それまで見えていた空間が一瞬に暗闇に消え、竹宵の明かりが暗闇の中ほかに浮かび上がり、幻想的で魅惑的な空間に変わりました。

後片付けが終わり、会場に戻った時にはいつの間にか、りんご並木に戻って、その大勢の人々、今回事業員として学んだことがあります。

瞬間に会場のライトが一斉に消えました。この瞬間は、やはり劇的でした。それまで見えていた空間が一瞬に暗闇に消え、竹宵の明かりが暗闇の中ほかに浮かび上がり、幻想的で魅惑的な空間に変わりました。

瞬間に会場のライトが一斉に消えました。この瞬間は、やはり劇的でした。それまで見えていた空間が一瞬に暗闇に消え、竹宵の明かりが暗闇の中ほかに浮かび上がり、幻想的で魅惑的な空間に変わりました。

後片付けが終わり、会場に戻った時にはいつの間にか、りんご並木に戻って、その大勢の人々、今回事業員として学んだことがあります。



この瞬間は、やはり劇的でした。それまで見えていた空間が一瞬に暗闇に消え、竹宵の明かりが暗闇の中ほかに浮かび上がり、幻想的で魅惑的な空間に変わりました。

瞬間に会場のライトが一斉に消えました。この瞬間は、やはり劇的でした。それまで見えていた空間が一瞬に暗闇に消え、竹宵の明かりが暗闇の中ほかに浮かび上がり、幻想的で魅惑的な空間に変わりました。

後片付けが終わり、会場に戻った時にはいつの間にか、りんご並木に戻って、その大勢の人々、今回事業員として学んだことがあります。

この瞬間は、やはり劇的でした。それまで見えていた空間が一瞬に暗闇に消え、竹宵の明かりが暗闇の中ほかに浮かび上がり、幻想的で魅惑的な空間に変わりました。

瞬間に会場のライトが一斉に消えました。この瞬間は、やはり劇的でした。それまで見えていた空間が一瞬に暗闇に消え、竹宵の明かりが暗闇の中ほかに浮かび上がり、幻想的で魅惑的な空間に変わりました。

後片付けが終わり、会場に戻った時にはいつの間にか、りんご並木に戻って、その大勢の人々、今回事業員として学んだことがあります。

## 水上より

### 自然へのエチケット向上を願う

自然保護レンジャー 三浦 務 (駒ヶ根市)



私は、カヌーやラフティングのリバーガイドとして天竜川水系に携わっており、昨年六月より自然保護レンジャーとして活動しています。自らのテーマとして「信州の身近な自然環境の変化や美観、自然の恵を体感する関わり」を念頭にしておられます。

主な活動域の天竜小浜水系県立公園は、人々の生活圏とも重なっているため、車で気軽に里山や河原アルプスの野趣を楽しめる反面、ゴミの放置や投げ捨ても時々目撃することがあり、怒りとともに心が痛むことがあります。一例では、驚流峡にて水上でお客様をこ案内している最中、真上の道路から栄養ドリンク空瓶入り数箱が投げ込まれ、目割でそれら茶瓶が岩上で割れて散乱するという出来事がありました。ツアー後、再度現場に赴き、ガラス片から全てを回収しましたが複雑な思いがしました。他にも踏み投棄物の例は枚挙にいとまがありません。これからは川岸にも釣り人、花火ゴミ、焚火跡、野糞等マナーの悪い例が目立ち始めます。

レンジャーは取り締り得ませんので、人の心理を見越した言葉を選び、あいさつなど声掛けをすることにより、それらの行為を躊躇させることが肝要と思っております。大変見苦しいものは、私に出来る範囲で回収し、河川事務所指定先に搬入してありますが、県には自然へのマナーキャンペーン・連絡網も更に進化させていただきたいと思っています。

五月二十四日、県庁で今年度初回の長野県希少野生動物保護対策委員会が開催され、長野県希少野生動物保護条例に基づいて今年度の保護回復を図る対象として、「ササユリ」が、環境審議会へ諮問されたことを受け、ササユリの現状などが話し合われ、保護回復を検討するため、専門小委員会の設置も決定された。

### 今年度の保護回復対象種は

#### 「ササユリ」に決定

ササユリは、県指定希少野生動物等に指定されるとともに、長野県版レッドデータブックでは準絶滅危惧種となっている。県内では東信を除き広く分布しているが、生育環境の悪化、園芸目的の採取の増加、野生鳥獣による被害などにより、減少が危惧されている。南信州には多くの保護

### 監視パトロールレポート

不法投棄監視連絡員 野牧 武 (飯田市)

私の担当監視地域は、ほとんどが山間地であり、国道から市道、道路行き止まり地等の巡回をしています。

また、家から持ってきたのか家庭ごみが道路上に放置されたり、投棄されたものが木の枝に掛かり回収が出来ない事もしばしばです。

農機具、家電等の大型投棄は希ですが、路上へのポイ捨てや多いのは道路下の山林で、中には家庭ごみからペットボトル、ビールの缶まで多くの物が捨てられています。急傾斜の山林のため回収ができないものもあります。

冬期は人の入りが少ないのですが、夏場の観光シーズンともなれば日々頻繁にポイ捨ては発生します。こうしたことから、平成十九年には不法投棄禁止の看板を立てたり、小



学生の「ごみはすてないで」看板、又、昨年はまちづくり環境衛生委員会が不法投棄予防鳥居の設置をしました。

年二回のごみゼロ運動には地区内の住民全戸が参加して実施しています。不法投棄が少しでも少なくなることを願う地域の活動です。日常におけるポイ捨てや不法投棄は後を絶たないのが現状ですが、小さなゴミでもそのままにしておくと次から次へと増えてしまいます。目に付いたゴミは人々の場で回収し、心無い人々が少ないも居なくなる事を願いながらの監視パトロールを実施しています。

### 「ドイツウム市」に学ぶ

#### まちづくり事業に参加して

地球温暖化防止活動推進員 今村良子 (飯田市)

三月、飯田市とウルム市が計画して下さった交流視察研修に参加することが出来ました。

三日間の研修で一日目は都市計画についてお話を伺いました。市の真中に四車線道路があったのを潰して、真中に空間広場、広場を挟んで銀行と博物館を建て、一方にはバス専用道路、一方には一般車道、地下には広い駐車を建設したという現況を見たり聞いたりし開発の成功が良く分かりました。大聖堂を中心



歩行者優先道路が造られていますが、舗装道路ではなく、雨水の浸透性を考えた石畳調のブロックを敷きつめた道路です。この施工にも感動し、飯田でもこの開発に学ぶことが出来るならと思うので副市長さんのお話を聞きしました。古い歴史が残っている街並みですがその古さを大切にしながら修復し、老人にも住める施設をまとめたり、ドナウ川の川辺にはのんびりと散歩できる公園を作り子供達が安全に遊ぶことが出来る工夫を受けたり、心温まる配慮が見受けられ、さすがウルム市だと感じました。電線は地下に埋めて電柱がないので街中がすっきりきれいな街でした。



電気使用量の見える化を行い、省エネ意識を高める省エネナビ

温暖化対策としてはソーラーシステムの導入、バイオメタンエネギーを利用したセントラルヒーティングを普及させて来ましたが、これから建てる家についてはパッシブ

ハウスの普及でエネルギー削減をする政策を取り入れて温暖化対策をするとの事でした。

\*パッシブハウスは、窓ガラスを三重等にした高性能省エネルギー建物

### 省エネルギーについて考える

地球温暖化防止活動推進員 牧内文隆 (飯田市)

私は、地球温暖化防止ということで会社の方で具体的な省エネ事業に関わっております。対象としては、業務用の省エネになりやすいので、規模としてはある程度大きなものになります。

さて、家庭レベルで省エネを見るとどうでしょうか。家電エコポイント制度の影響もあり、省エネの意識も、より人々に浸透してきたように感じます。二〇一一年七月に

はテレビの地上アナログ放送が終了し、地上デジタル放送に移行されます。画像が鮮明になる、双方向サービスの利用が可能になるなどのメリットがある一方、買い替えにより多量のアナログ方式のテレビが廃棄される可能性が高く、省エネ環境にやさしいとは必ずしも言えない一面もあります。製品の寿命がきて交換せざるを得ない状況で、省エネタイプを選択することは経済的にも地球温暖化防止への貢献という点でも良い方向かとオモイマス。

環境技術では一歩先を行く日本は、CO2排出削減を進める事がビジネスチャンスとなる

### ラベンダーが香るまち

主税町に700本を植栽



四月十八日、橋南まちづくり委員会主催によるラベンダーの植栽が昨年度に引き続き行われました。ラベンダー植栽は昨年度、環境省の「みどりの香るまちづくり企画コンテスト」でアロマ環境協会賞を受賞した取組みとして行われたもので、今年度は主税町の中央分離帯に約七百本の苗木を植えました。植栽を行うに

香るまちづくり企画コンテスト」でアロマ環境協会賞を受賞した取組みとして行われたもので、今年度は主税町の中央分離帯に約七百本の苗木を植えました。植栽を行うに